

第38回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会
2022.2.26

イントロダクション

国立科学博物館
標本資料センター
神保 宇嗣

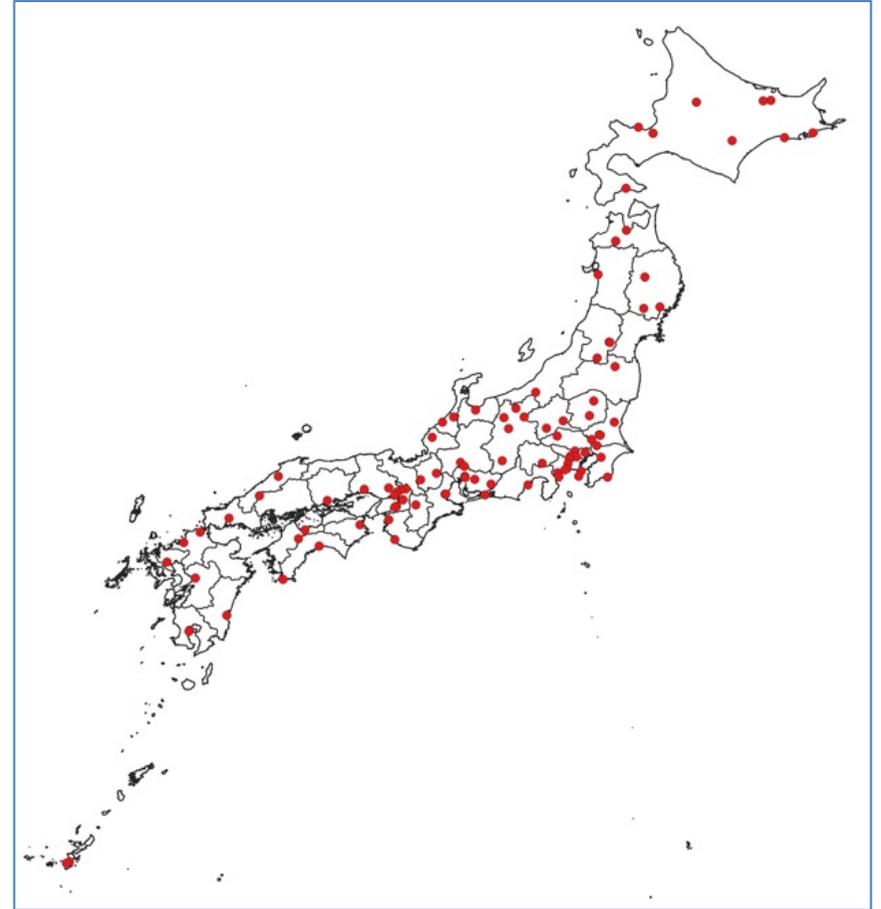


生物標本

＝ある生物がいつ、どこにいたかを示す物的証拠
＝さまざまな形で利用できる資源（研究・展示...）

サイエンスミュージアムネット (S-Net)

- 国立科学博物館が運営する自然史標本データ共有ネットワーク
- 博物館・研究所など100機関以上
- 約660万件の標本情報
566件の研究員・学芸員情報
- よりグローバルなデータベースへの共有



参加館の所在地

S-Netウェブサイト



サイエンスミュージアムネット

サイエンスミュージアムネットについて

English

参加機関・参加検討中の機関の方へ



全国の自然史系博物館の標本情報がここにあります

- 自然史標本情報の検索
- データセットの検索
- 研究員・学芸員の検索
- 参加機関・検討中の機関向けの情報
- 活動記録
- マニュアル類

「自然史標本情報検索」では動植物や化石の標本情報を検索できます。
「詳しく検索」では学名、和名、採集した年月日、採集場所の地名などで絞り込んだ検索ができます。

🔍 検索 [詳しく検索](#)

<http://science-net.kahaku.go.jp/>

地球規模生物多様性情報機構

Global Biodiversity Information Facility (GBIF)

- 生物多様性情報を誰でも利用可能にする情報基盤構築が目的の国際プロジェクト
- S-Netからも情報を発信
- データは様々な形で利用される



1,942,921,449
オカレンスレコード



67,749
データセット



1,794
提供機関



6,826
データを利用した査読付き
論文

<http://www.gbif.org/ja/>

日本生物多様性情報イニシアチブ

Japan Initiative for Biodiversity Information (JBIF)

- 日本からGBIFへ生物多様性データを発信
- 文部科学省「ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)」の一課題
 - 実施機関：国立科学博物館・国立遺伝学研究所・
東京大学大学院総合文化研究科

ホーム お問い合わせ サイトマップ サイト内検索 English twitter

JBIF
日本生物多様性情報
イニシアチブ
Japan Initiative for Biodiversity Information

世界中の生物多様性に関するデータの検索
例：ツバメ, Flora of Japan Specimen

GBIF.org

GBIFデータの利用 →

GBIFへのデータ登録 →

標本・観察データ検索システム →

日本から登録されたデータを日本語で検索できます。

標本・観察データ検索システム →

<https://www.gbif.jp/>

GBIFとJBIF



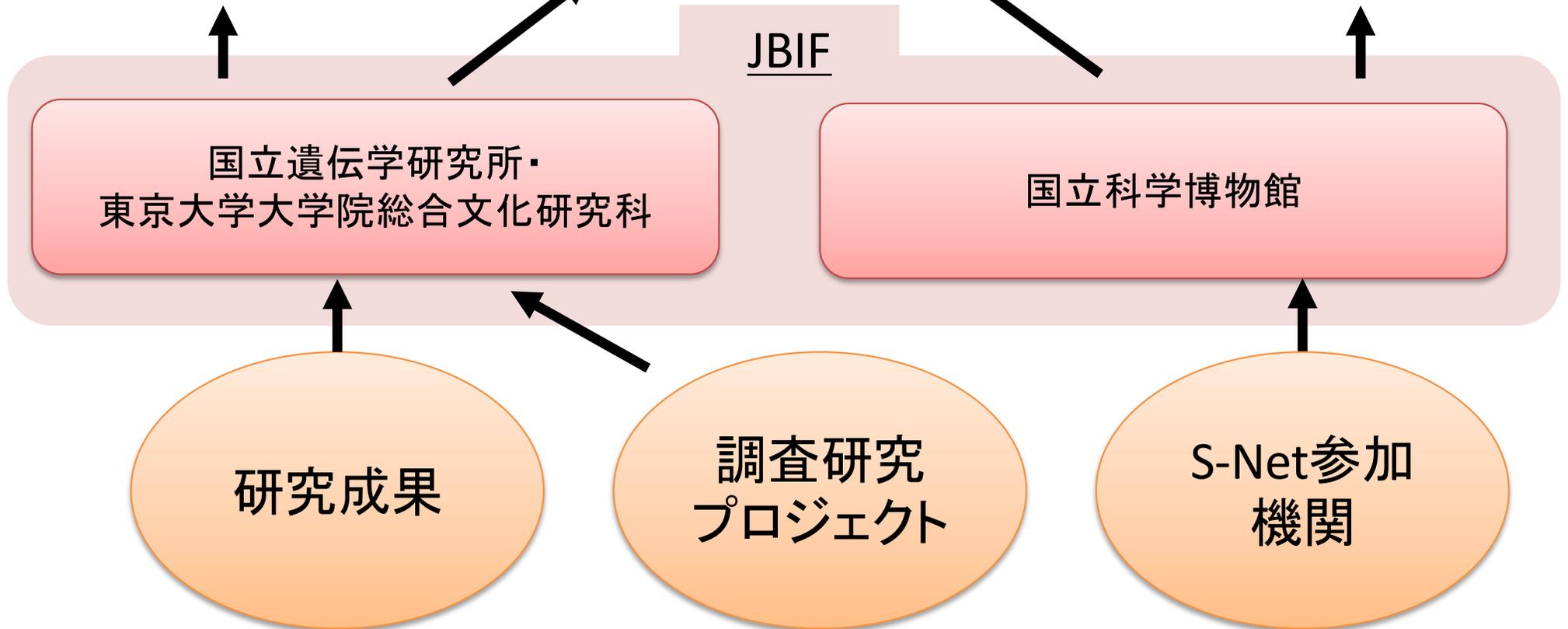
GBIFウェブサイト



S-Netウェブサイト

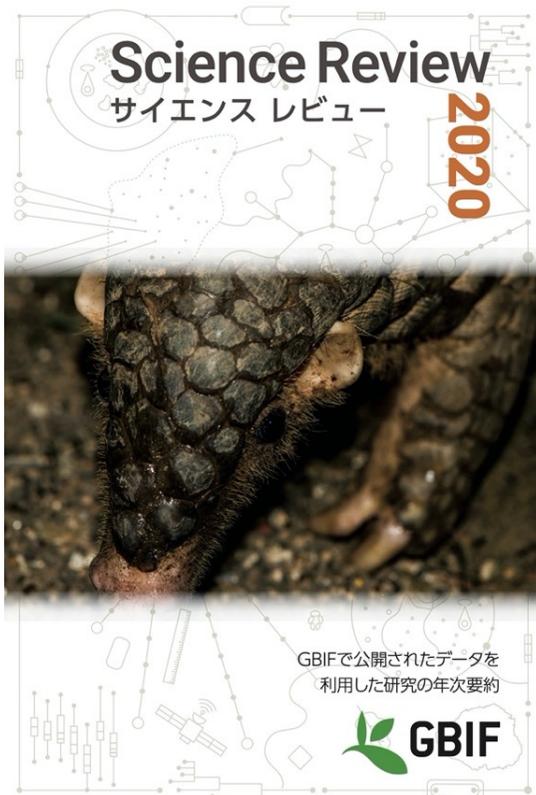


JBIFウェブサイト



S-Net/JBIF関連最新状況

- 来年度からのNBRP第5期に申請中
- S-Netデータベースシステムの更新実施中
- GBIFサイエンスレビュー2020の和訳公開



JBIFウェブサイトの「お知らせ」もしくは
「ライブラリー」からダウンロード可能

第38回 自然史標本データ整備事業による
標本情報の発信に関する研究会
「分類群同定の基礎と専門家・分類学者との連携」

2022年 2月26日(土) 13時30分～16時

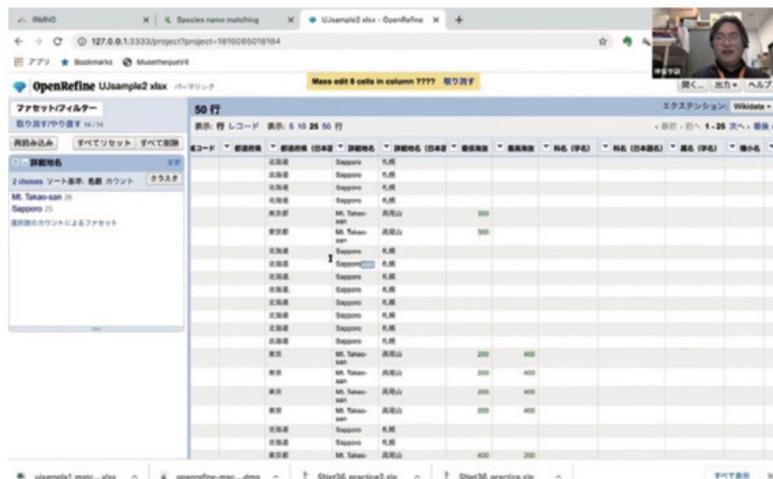
主催：国立科学博物館

協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

最近の研究會内容

※講習形式(上半期)と実習形式(下半期)で年2回開催;*はオンライン

- 第33回 地理情報の活用と新レッドチェッカーの紹介 (2019.6)
- 第34回 データ品質向上に向けてのテクニック (2020.2)
- 第35回 GBIF関連サイトの使い方とより品質の高いデータ提供のためのテクニック* (2020.11)
- 第36回 標本データのチェックとクリーニングの技法* (2021.2)
- 第37回 S-Netを動画で学び活用する* (2021.7)
- 第38回 分類群同定の基礎と専門家・分類学者との連携* (2022.2)



オンラインでの実習デモ



限定動画公開

同定＝生物の名前を特定する作業

正確に同定された標本データを
公開いただくことが重要

ガが(ある程度)同定できるようになるまで

右も左も分からない。端から端まで図鑑を見て絵合わせで調べる。

少し覚えてきた。図版に目星をつけ、解説も使いつつ調べる。

だいぶ分かるようになった。論文や解説記事を集めて新しい知識を得る。

外観での同定の限界に達した。解剖方法を覚え、交尾器を観察して特定する。

正確な同定に必要なものは？

- 信頼できる書籍、最新の情報
- 形態観察のノウハウ、解剖等のテクニック
- 専門家への依頼



ヨツボシホソバ



ウンナンヨツボシホソバ

最新の情報を手に入れる

List-MJ 日本産蛾類総目録 [version 3]

(βバージョン, 最終更新2021.06.03, 作成 神保 宇嗣)

- [この目録について](#)
- [種名一覧](#)
- [修正箇所一覧](#)
- [参考文献リスト](#)
- [種数集計](#)

各分類群の目録へ

[Micropterigidae コバネガ科](#)

[Eriocraniidae スイコバネガ科](#)

[Hepialidae コウモリガ科](#)

[Nepticulidae モグリチビガ科](#)

[Nepticulinae モグリチビガ亜科](#)

[Opostegidae ヒラタモグリガ科](#)

[Heliozelidae ツヤコガ科](#)

[Adelidae ヒゲナガガ科](#)

[Nematopogoninae ウスキヒゲナガガ亜科](#)

[Adelinae ヒゲナガガ亜科](#)

[Prodoxidae ホソヒゲマグリガ科](#)

[Lamproniinae マダラマグリガ亜科](#)

[Prodoxinae ホソヒゲマグリガ亜科](#)

[Incurvariidae マグリガ科](#)

[Tischeriidae ムモンハモグリガ科](#)

[Meessiidae 和名未定 \(ヒメヒロズコガ類\)](#)

[Dryadulidae 和名未定 \(スジモンヒロズコガ類\)](#)

[Tineidae ヒロズコガ科](#)

Genus *Lithosia*

Lithosia quadra (Linnaeus, 1758) ヨツボシホソバ

- 亜種の分割により日本産は表記の亜種とされた。
Dubatolov et al., 2016 [2021-02-10更新]

Lithosia quadra dives (Butler, 1877)

- 亜種の分割により日本産は表記の亜種とされた。
Dubatolov et al., 2016 [2021-02-10更新]

Lithosia yuennanensis (Daniel, 1952) ウンナンヨツボシホソバ

- 日本新記録 分布：本州
宮野, 2011; 岸田, 2011 [2014-12-20更新]
- 【List-MJ誤記修正】種小名
[2016-07-18更新]

Genus *Aemene*

Aemene sordida Butler, 1877 バイバラホシコケガ

- 【List-MJ誤記修正】標準図鑑誤記：著者のカッコは不要
上田恭一郎 (準備中) [2020-12-16更新]

Aemene altaica (Lederer, 1855) クシヒゲホシオビコケガ (ホシオビコケガ)

- 和名改称 (←ホシオビコケガ) クシナシホシオビコケガと混同されていることがわかったため
岸田, 2018a [2020-04-28更新]

Aemene takahashii Kishida, 2018 クシナシホシオビコケガ

- 新種記載 分布：本州
岸田, 2018a [2020-04-28更新]

Genus *Diduga*

Diduga iriomotensis Bae, Kishida & Bayarsaikhan, 2019 ホソキベリチビコケガ

- 新種記載 分布：奄美大島・石垣島・西表島
Bae et al., 2019 [2020-04-28更新]

Genus *Stigmatophora*

Stigmatophora rhodophila (Walker, [1865]) モンクロベニコケガ

- 【List-MJ誤記修正】標準図鑑誤記：公表年 (←1865)
上田恭一郎 (準備中) [2020-12-16更新]

(神保宇嗣 日本産蛾類総目録 <http://listmj.mothprog.com/>)

- イントロダクション(国立科学博物館 神保 宇嗣)
- 「図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか？」を書いたのはなぜか？(慶應義塾幼稚舎 須黒 達巳)
- 整理はしても、同定するな！ 維管束植物標本の山に立ち向かう方法(国立科学博物館 海老原 淳)
- コケ植物の分類体系の現状と標本作製・コレクション管理(国立科学博物館 井上 侑哉)
- (休憩)
- 日本産魚類の同定 ～方法, 有用ツールおよび種名リスト～(国立科学博物館 中江 雅典)
- ゴキブリ類の採集・標本作成時の取り扱いと日本産種の近年の研究について(竜洋昆虫自然観察公園 柳澤 静磨)
- 同定依頼: する側とされる側がやるべきこと(神奈川県立生命の星・地球博物館 渡辺 恭平)
- 総合討論